

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-3	政策名	生涯学習の推進	政策の 目指す姿	生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動しています	政策 主管課	生涯学習課	政策主管 課長名	市川 清志
	政策の方針		社会経済情勢の変化への対応や地域課題の解決に向け、市民が生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動していくためには、学習や活動のための環境づくりが必要です。 そのために、市民が自主的に生涯学習活動ができるよう支援を行います。また、地域と連携して青少年の自立に向けた育成を推進するほか、国際都市の実現に向け、市民の国際理解の醸成を図ります。							

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	市民が日頃から物事に 関心を持って自主的な 学習活動に取り組んでい る状態を示す指標。増加 を目指す。	出典：花巻市(市民アンケート) 問：あなたは学習活動(まなび学園や生涯学習会館、各総合支所、振興センター、図書館、記念館、博物館、市民の自主活動グループ、民間のカルチャースクールなどが開催する講演会、講座や教室)にどの程度取り組んでいますか。 (1)週に2回以上行っている (2)週に1回程度行っている (3)月に1回程度行っている (4)年に数回程度行っている (5)ほとんど言っていない (1)(2)(3)(4)と答えた市民の割合	%	目標値		36.0	38.0	40.0	50.0
				実績値	34.1	36.1	36.1	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
B	実績値は横ばいで、目標値には達していない。 年齢別に見ると、高齢になるにしたがい取り組む者が多くなっている。居住地域別では、極端な差は見られないが、市周辺部の地域では取り組む者が多い地域があり、花巻地域に取り組む者が少ない傾向が見られる。 これは、比較的若年層が花巻地域に居住していることが要因と考えられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26		H27			H28		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値		
1	自主的学習の推進	生涯学習講師新規登録者数(人)	12	20	14	c	20	13	c	20	→	D
		一人当たりの図書貸出数(冊)	3.7	5.0	3.5	c	5.0	3.6	c	5.0	→	
2	青少年の社会教育	地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合(%)	30.4	32.0	30.0	b	34.0	32.6	b	36.0	→	C
		青少年の健全育成活動に関わった市民の割合(%)	19.7	23.0	19.8	c	26.0	22.5	c	29.0	→	
3	国際都市の推進	海外の姉妹、友好、交流都市との交流など国際交流に関心のある市民の割合(%)	38.7	41.0	36.6	c	42.0	34.8	c	43.0	↘	D
		国際交流事業参加者数(人)	4,946	5,100	4,860	b	5,200	4,209	c	5,300	↘	
		国内友好都市交流事業参加者数(人)	277	400	508	a	450	430	b	500	↘	

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B-④	講座や交流事業への参加者は思うように増加していない。 社会的要因として、少子化や地域の若者不足、女性や高齢者の就業増加、さらには国際情勢の変化による近隣諸国との交流停滞が挙げられる。 限られた人だけの事業にせず、多くの人たちに参加してもらうためには、特に若い世代の関心を高める必要があり、まちづくりに意欲的な若者達や団体等と連携した取り組みを展開していくことが重要である。
やや遅れている	

成果指標達成度	A				
	B	☆			
	C				
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

	施策名	自主的学習の推進	施策の成果指標の達成状況	H26	D	H27	D
1		<p>【課題】 若い世代の講座への参加が少ない。 子ども映画会やブックスタートは、少子化などの影響もあり、参加者数が伸び悩み傾向にある。</p> <p>【今後の方向性】 既存の講座内容の見直しをしながら若い世代や多様化するニーズに応じた講座の充実を図る。 新規参加者の増加を図るため広報活動を強化する。 図書館は利用者アンケート等による改善を図りつつ、花巻図書館建設に向けて検討を進める。</p>					
2		<p>施策名 青少年の社会教育</p> <p>【課題】 個別化社会が進む中、子ども達にはコミュニケーション能力の向上が求められている。 青少年街頭補導活動を有害図書自動販売機の撤去に向けた活動の充実が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 子どもの頃から交流活動や芸術文化スポーツ体験活動の機会を設け、人と交流する機会を設ける。 成人式の運営を通して、地域や社会との関わりや自ら行動する意識の醸成を図る。 「青少年の非行・被害防止全国強化月間」(7月)に呼応した街頭啓発活動を実施する。</p>	<p>施策の成果指標の達成状況</p>	H26	C	H27	C
3		<p>施策名 国際都市の推進</p> <p>【課題】 国際交流事業については、限られた人だけの交流にとどまらないように事業を構築する必要がある。 国際フェア等のイベントに、多くの方々の関心を高める工夫をする必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 特定の人にとどまらない事業内容となるよう関係機関と協議しながら進める。 イベントの実施について、様々なメディア等を通じて周知を図る。</p>	<p>施策の成果指標の達成状況</p>	H26	C	H27	D